

まいにちかいえん
～毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園～
ずー

2013年1月号
No.9

ZOOっといっしょ

こんげつ 今月のニュース!

・オオカンガルーのモナカの展示が始まりました!

11月5日に埼玉こども動物自然公園から来園したオオカンガルーのモナカ(♀)の展示が始まりました。最初に群れの中に入ったときは他の子に威嚇されたり、餌もみんなと一緒に食べられませんでした。一人でいるよりみんなと一緒にいる方が安心するようでした。4頭のオオカンガルーがパドックで日向ぼっこしている姿は、のんびりしていてとてもかわいらしいです。そんな姿をぜひ見に来て下さい。



・クリスマスイベントが開催されました!

12月25日(火)に～動物たちにクリスマスプレゼントをあげてみませんか!?～というイベントを開催しました。サンタクロースの格好をした飼育員がガイドをしたり、お客様から動物たちにプレゼント(エサ)が配られました。お客様からのプレゼントに動物たちも大喜び。来年のクリスマスも待ち遠しい動物たちです。



・ガチョウの展示が始まりました!

12月14日からこどもどうぶつコーナーで2羽のガチョウの展示が始まりました。とても仲が良く、どちらか姿が見えなくなると探すようによく鳴きます。野菜が大好きです。特徴的な愛嬌のある顔をしています。アヒルとの違いを探してみると面白いかもしれません。(春までこどもコーナーのコールダックとバリケンに展示をお休みします。)

「こたろうポスト」から

キリンの『こたろう』が動物たちとみなさんをつなぐ郵便配達員になって、みなさんから届いた疑問・質問にお返事するコーナーです。

質問 : サルはなぜ木のぼりが上手なの?

お返事 : サルは約200種類いますので、前回に引き続き今回も、クモザルにスポットをあててお答えします。

クモザルは命綱のようにしっぽを使うことで、木の上でも高速移動することができます。また足の指の位置も人とは違い、親指が離れているため上手にものをつかむことができます。

野生では果実を主食にしているため、木から木へ移動し餌を探さなければいけません。また、地上には天敵となる動物がいるため、めったに地上に降りることはないようです。しかし、桐生が岡動物園で飼育しているクモザルは、地上に天敵がいらないため地上に降りて寝ていることもあります。



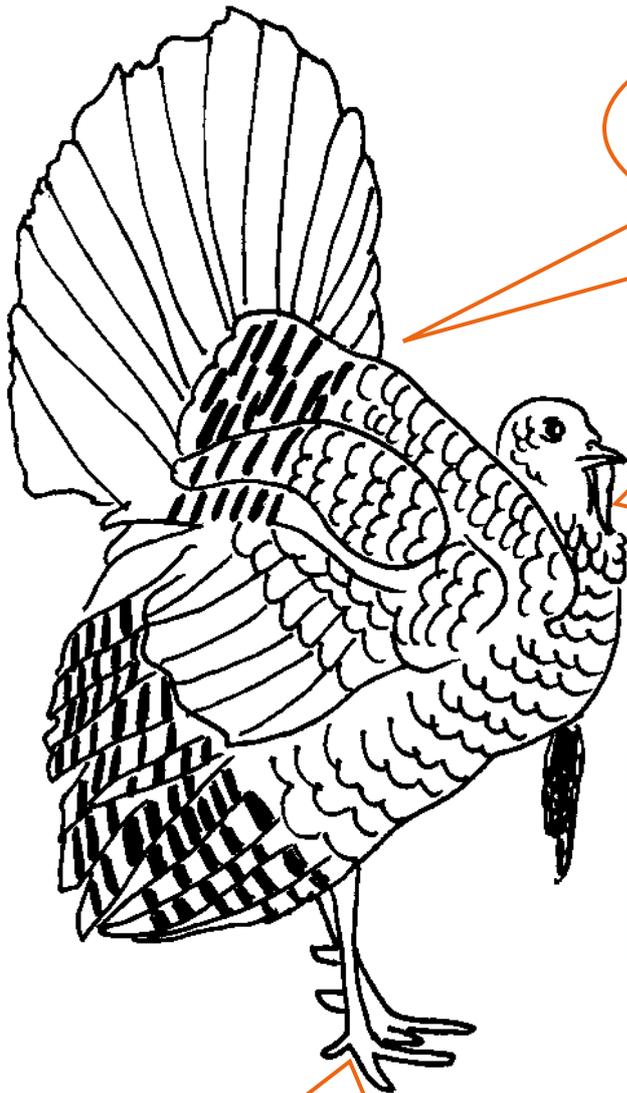
みなさんも、知りたいことや不思議におもったことなど気軽に質問してくださいね。質問箱はクモザル舎のガラスビュー観覧スペースに設置してあります。

特集 第9回目はシチメンチョウです。

桐生が岡動物園では、オス1羽、メス2羽を展示しています。

シチメンチョウはキジの仲間では最も大きく、オスの体重は10kg、メスは4kgくらいになります。オスの頭部は羽毛がなく、鼻部の片側にたれ下がる長い肉垂れと首のあたりにいくつもある丸い塊が特徴です。顔の皮膚の色は赤・青・紫など様々に変化をします。

シチメンチョウは漢字では『七面鳥』と書きます。七つの顔を持つ鳥とまではいきませんが、オスの顔の色は様々に変化して、肉垂れも伸びたり縮んだりしていろいろな顔を見せてくれます。



羽

・全体的に黒色をしています、

金属の銅のような光沢があります。

肉垂れ

・普段はくちばしの上にあります。

・メスへの求愛の時や、オス同士の威嚇の時などに長く伸びます。

1日の餌(3羽分)

- ・キジ用ペレット ; 適量
- ・ニワトリ用配合飼料 ; 800 g
- ・白菜 ; 100 g
- ・小松菜 ; 2把
- ・食パン ; 少量

肢

・体重を支えるため、太くて頑丈です。

・オスには蹴爪があります。

